

リニアタウン名駅西シンポジウム

リニア開業に向け
名駅界隈が
生まれ変わろうとしています

名駅のウラ話 をしよう

名駅西で暮らしたい方
事業を営みたい方
関心がある方は
ぜひご参加ください



駅をでて



待ち合わせして



映画を観て



昼モーニングして



日時 2/16(月) 16:00(15:30 開場)～18:00

会場 TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口 2階ベガ

中村区則武1-6-3
ベルヴュオフィス名古屋

先着200名 入場無料 事前申込不要



オンライン配信でも参加可能

ZOOMウェビナー

<https://x.gd/zPQg3Q>

主催 名古屋市



夜まで遊べる



ウラ面へつづく

プログラム

16:00 開会

16:05 まちづくり方針(案)のご紹介

16:15 基調講演1

「Reverse～名古屋駅「裏」と「表」の構造転換～」

名駅の西と東の
ポテンシャルの違い

林 浩一郎氏

名古屋駅西は、戦後闇市から80年、リニア開発を迎てもなお、都市の「雑多性」を保ち続けている。わが国でも唯一無二の都市空間である。均質に計画された「表」とは対照的に、この街には、雑多で人間臭いエネルギーがある。

そして、階級も、国籍も、新旧も入り混じる「創発的なモザイク」が形成されてきた。

この講演では、駅西で出会った人ひとの声をもとに、「駅西らしさ」を解き明かし、リニア時代において、価値観をいかに裏返し、何を生まれ変わらせるかを考える。

16:40 基調講演2

「ウチとソトのまちづくり～那古野の事例を参考に～」

地元の人と支援する人
との連携のコツ

藤田 まや氏

円頓寺商店街の化粧品屋として、那古野のまちが変わっていく過程を、地元住民・事業者である“ウチ”的立場から体験。外部の専門家や行政といった“ソト”と、どのように協働し、関係を育ててきたのかー。

地域が主役のまちづくりを実践してきた那古野での、具体的なチームづくりや取り組み、外部との関わり方を踏まえ、名駅西のこれからを考える。

17:10 パネルディスカッション 「リニアを契機に考える名駅西の豊かな未来」

18:00 閉会



ウラ話します



博士(社会学)。首都大学東京(東京都立大学)人文科学研究科 博士後期課程修了。1980年東京都生まれ。2014年より名古屋駅西の方々の生活史を聞き取り、都市・地域社会学の研究をしている。

編著書・論文に『名古屋駅西タイムトリップ』(2025年、風媒社)「リニア開発主義の構造と主体一名古屋駅西地区におけるリノベーション事業と〈草の根の新自由主義〉」『日本都市社会学会年報』36(2020年)などがある。

林 浩一郎氏

名古屋市立大学人文社会学部准教授

ウラとオモテをつなぐ



名古屋工業大学で建築計画を学び、千葉大学大学院にて参加型まちづくりを研究・実践。2006年に岡崎まち育てセンター・リタを設立し、愛知県内を中心にイキイキとしたコミュニティとまちを育むコーディネーターとして活動を展開。2019年より名古屋駅西地区まちづくりアドバイザー、2020年から地域まちづくり活動助成評価委員を務める。2023年より現職。

三矢 勝司氏 コーディネーター

名古屋学院大学現代社会学部准教授

オモテの話もさせて



宅地建物取引士。愛知淑徳大学都市環境デザインコース卒業。円頓寺商店街にある大正2年創業の化粧品屋に生まれ、実家と地元が無くなつてほしくないという思いからまちづくりに関わる。

現在も実家や地元での取り組みを大切にしながら、他地域のまちづくりやイベントの企画運営も行う。愛知県商店街プラン策定委員。

藤田 まや氏

株式会社ナゴノダナバンク代表取締役

ウラって言わせない



駅西の椿町地区に生まれ、有限会社名峰(韓国食材卸売)を地区内にて経営、2011年より牧野学区区政協力委員を7期、2012年名古屋駅太閻通口まちづくり協議会設立時より名駅西 TSUBAKIフェスタを開催し継続中、2023年より事務局長を務め、2025年「名古屋駅西椿まちづくりビジョン」提案者の一人。

田中 和生氏

牧野学区役員／名古屋駅太閻通口まちづくり協議会事務局長

お問い合わせ 名古屋市 住宅都市局 都心まちづくり部 リニア関連・名駅周辺開発推進課

TEL 052-972-3986 FAX 052-972-4171 メール a3980@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp